

たかひこ通信

町議会12月定例会は12月16日（日）10時から休日議会として一般質問を行います。皆さまのご来場をお待ちしています。

部内資料 たかひこ通信 No.91
2018/11/25 〒399-8601 長野県北安曇郡池田町大字池田3089-4
薄井孝彦 Tel・Fax 0261-62-5093
mail : peacea@peach.plala.or.jp

安曇野市の地下水構造（断面）

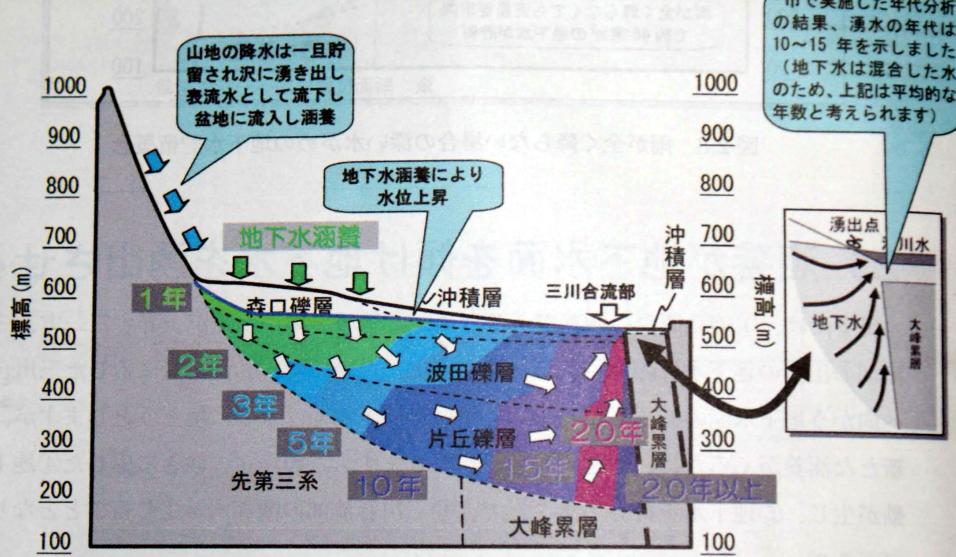


図2.10 地下水の形成と流動時間の概念

（年数毎の色分けは地域の地下水流動特性と地層毎の水の通りやすさの違いを考慮し表現しました）

地下水涵養問題を考える

本年、9月8日の信濃毎日新聞・大糸タイムスは、「一部上場企業”サントリー食品インターナショナル（本社・東京都）”が大町市常盤の西山地区で地下100メートルから地下水をくみ上げ、年間約1000万ケース（1ケース550ml・24本）のミネラルウォーター”サントリーワン天然水”の生産を2020年末から稼働を予定している」と報道。サントリーは年間、13万2000m³の取水を行うことになります。

安曇野市水環境基本計画【マスターplan】14pから転載

池田町の水道水源は100%地下水に依存しており、今後、更にミネラルウォーター製造企業が進出し、地下水採取量が増えた場合、池田町の水道水源に影響を及ぼす恐れが出てこないか危機感を覚えました。そこで、地下水の保全に積極的に取り組んでいる安曇野市に話を聞きました。その概要は次の①～③です。

- ①松本盆地の地質構造は上流（大町市・塩尻市など）から下流（安曇野市明科）に向けた水を通さない岩盤（先代三系、大峰類層）で覆われた巨大な「水龜（約191億m³）」である。そこに水を通す砂礫層が最大厚さ400m堆積している。雨水は砂礫層から浸透し、10~20年以上かけて三川（犀川・高瀬川・穂高川）合流部から湧き出している（図2.10）。
- ②安曇野市の地下水は1986年～2007年にかけ水位低下傾向を示し、この間に年平均595万m³減少した。しかし、2007年以降は微増（56万m³/年）している。安曇野市の総地下水水量は1986年 55.7億m³から2015年 54.5億m³に減少した。地下水の涵養を図るため、市は年300万m³を増やすことを目標とした。
- ③地下水低下の原因として、水田減少による浸透量の減少、犀川の河床低下による湧き出し量の増加などが上げられる。地下水を増やす方策として、市は冬季水田への灌水、麦収穫後の灌水（7～9月）を推奨してきた。しかし、国から水利権行使に疑問が投げかけられ、方策として不透明な状態となっている。現在、市では人工池による浸透増や使い終わった地下水を再び浸透させる井戸設置などの方策も検討している。

安曇野市のミネラルウォーター製造企業の地下水使用量は7社で年間56.6万m³（※）と言われ、同市の地下水涵養年増加目標の18.9%を占めています。ミネラルウォーター製造企業は松川村で1社あり、大町市はサントリーを含め3社となります。今後、更にミネラルウォーター製造企業が増えた場合、池田町の地下水は上記①の水龜につながっている可能性もあるので水位低下も考えられます。地下水はそこに住む人の共有財産です。一部企業だけが無制限に利用して良いのでしょうか。地下水の涵養策として、ミネラルウォーター製造企業の地下水採取量の上限規制や製造企業数の規制などを検討すべき時期に来ていると思います。※安曇野市地下水資源強化・活用指針（2012年）8p表3-1から算出

北アルプス広域連合議会

「買い物サポート事業」試行予算を可決

11月15日、北アルプス広域連合議会が開かれ、高齢者が買い物に出かけやすくし、介護予防につながる全国初の「買い物サポート事業」試行予算（100万円）を可決した。サポート事業では、65歳以上の人で認められた人の指定店舗での買い物（30Kg未満）を無料で自宅に届ける。対象者は広域連合全体で100人（池田町：10人）、指定店舗13店舗（池田町：てるぼう市場、ザ・ビック池田店）で来年2月まで試行し、課題を検討する。

今月の一首

”日もみじか
モミジ舞い散
る夕暮れに
時の早さに
焦る我かな”